

# 佐賀県の地震活動概況 (2023年12月)

令和6年1月15日  
佐賀地方気象台

## 【12月の地震活動概況】

12月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした(11月は1回)。

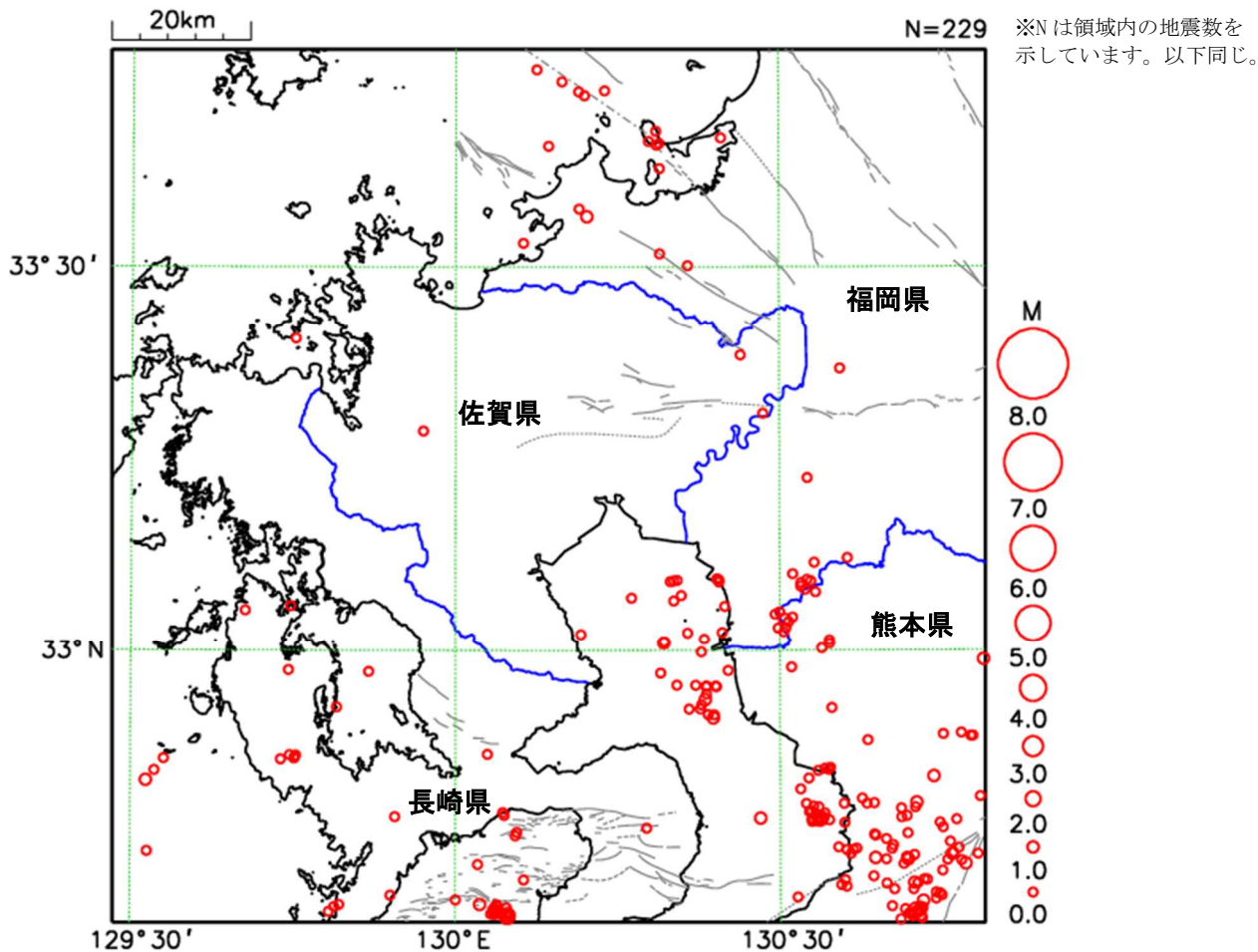


図1 震央分布図(2023年12月1日~31日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$ )  
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

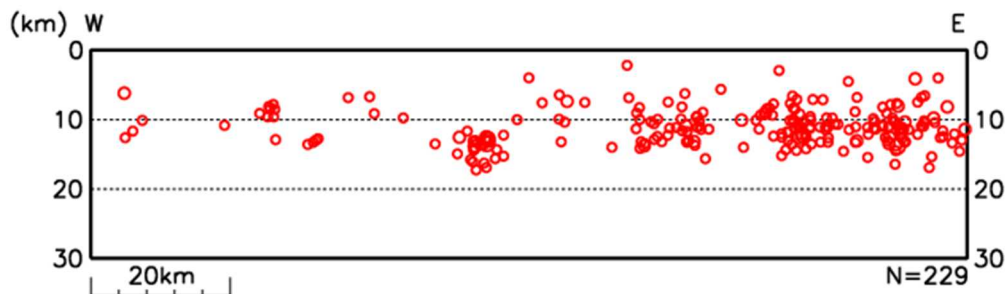


図2 断面図(2023年12月1日~31日、深さ30km以浅)  
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

## 2023 年に発生した地震の概要

### 1. 佐賀県の地震活動

2023 年に佐賀県で震度 1 以上を観測した地震は 5 回 (表 1、図 3) でした (2022 年は 10 回)。このうち、震度 3 以上を観測した地震はありませんでした (2022 年は 2 回)。

表 1 2023 年に佐賀県内で震度 1 以上を観測した地震

番号	発震日時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	規模 (M)	最大震度	佐賀県最大震度
1	2月17日	19時38分	福岡県北西沖	34° 04.1'	130° 24.7'	16	4.3	3	2
2	7月22日	21時14分	日向灘	32° 36.9'	132° 13.6'	37	5.0	4	2
3	8月7日	03時12分	大隅半島東方沖	30° 46.0'	131° 28.7'	43	5.4	3	1
4	8月26日	22時29分	周防灘	33° 55.5'	131° 53.2'	74	4.6	3	2
5	11月11日	05時50分	鹿児島湾	31° 19.7'	130° 48.2'	104	5.0	4	1

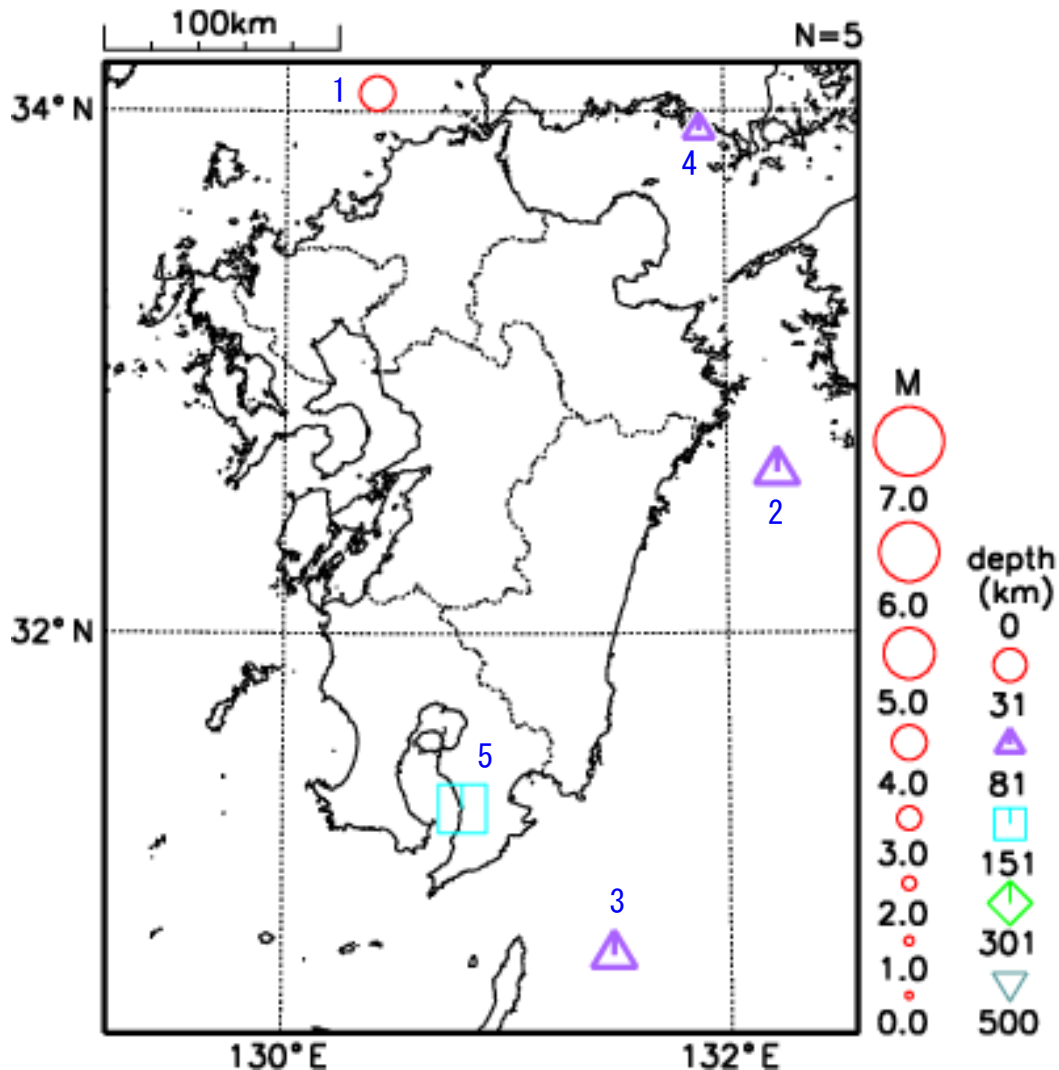


図 3 2023 年に佐賀県で震度 1 以上を観測した地震の震央分布図  
 ※図中の番号は、表 1 の地震番号に対応しています。

## 2. 九州・山口県の地震活動

2023年に九州・山口県で震度1以上を観測した地震は764<sup>(注1)</sup>回(表2、図4)でした(2022年は330回)。

表2 2023年に九州・山口県で震度1以上を観測した地震

月	最大震度別回数									合計	累計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		
1月	18	7								25	25
2月	6	6	3							15	40
3月	8	1								9	49
4月	12	4	3							19	68
5月	69	31	8	2	1					111	179
6月	35	13	3	1						52	231
7月	20	4	1	1						26	257
8月	24	4	3							31	288
9月	255	89	25	2						371	659
10月	11	2	1							14	673
11月	31	11	3	2						47	720
12月	33	10	1							44	764
合計	522	182	51	8	1	0	0	0	0	764	

※九州・山口県で観測した最大震度の震度別の地震回数を計数しています。

(注1) 2023年10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相<sup>(注2)</sup>によるものと考えられる震度(10回)を除く。

(注2) 地震波が海底面で首波に変換され海中を伝わったもの。

2023年に九州・山口県で震度4以上を観測した地震は以下のとおりです。

- ・トカラ列島近海(口之島・中之島付近)では、4月1日頃からややまとまった地震活動があり、5月11日以降、地震活動が活発となりました。6月中旬頃から発生する地震の規模が徐々に小さくなり、地震の発生数も減少していましたが、11月7日頃から11月下旬にかけて地震活動がやや活発となりました。4月1日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、180回(震度5弱:1回、震度4:4回、震度3:9回、震度2:38回、震度1:128回)発生しました。最大規模の地震は、5月13日16時10分に発生したM5.1の地震で、鹿児島県十島村(中之島)で震度5弱を観測しました。
- ・7月22日21時14分に日向灘の深さ37kmでM5.0の地震が発生し、大分県佐伯市、高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度3~1を観測しました。
- ・トカラ列島近海(小宝島付近)では、9月8日頃から9月中旬にかけて地震活動が活発となりました。9月8日から12月31日までに震度1以上を観測した地震は、363回(震度4:2回、震度3:27回、震度2:85回、震度1:249回)発生しました。最大規模の地震は、9月11日00時01分に発生したM5.3の地震で、鹿児島県十島村(悪石島)で震度4を観測しました。
- ・11月11日05時50分に鹿児島湾の深さ104kmでM5.0の地震が発生し、鹿児島県の曾於市、大崎町で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度3~1を観測しました。

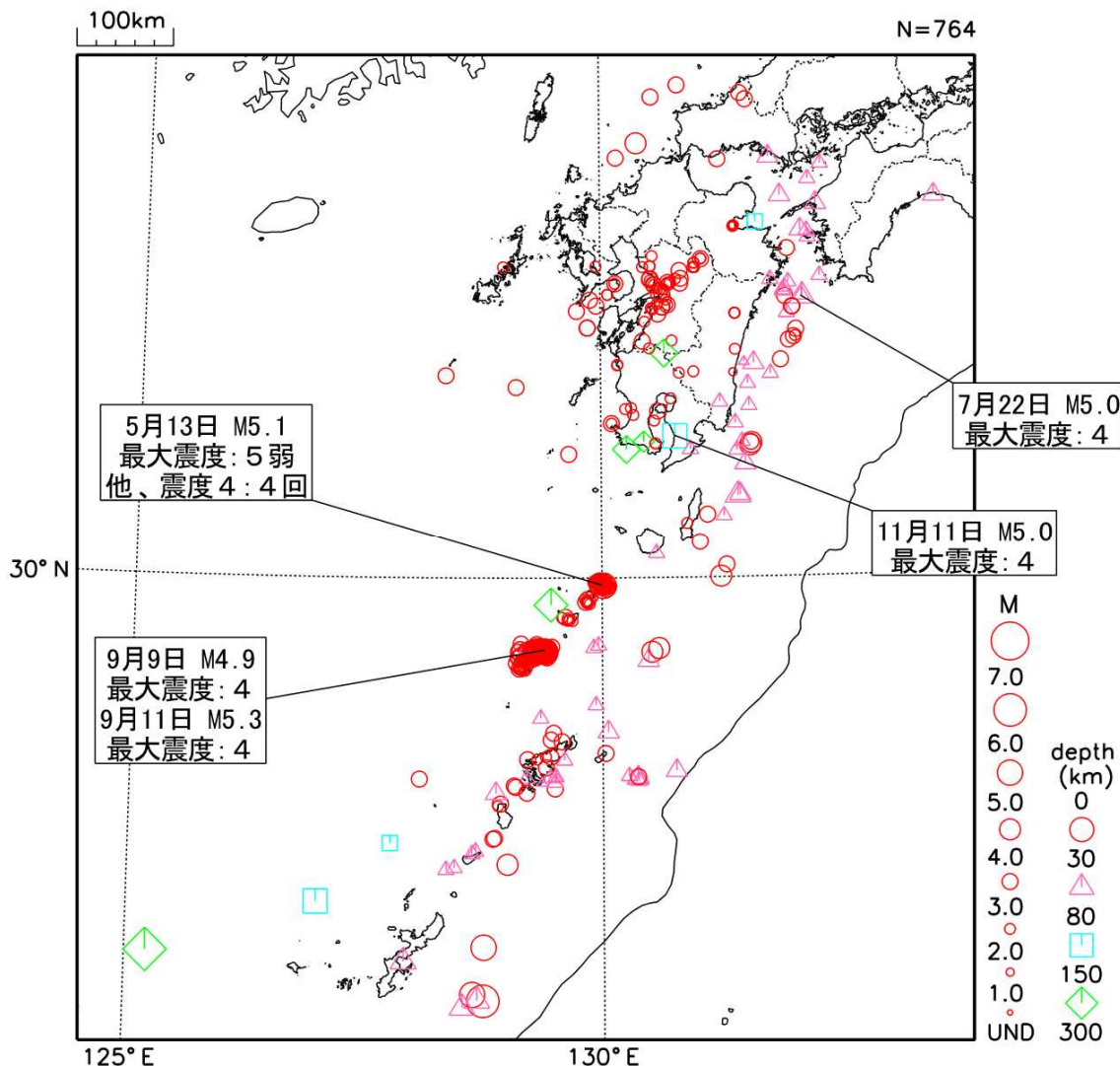


図 4 2023 年に九州・山口県で震度 1 以上を観測した地震の震央分布図

※九州・山口県で震度 4 以上を観測した地震に吹き出しを付けています。

### 3. 九州・山口県で観測した津波

・鳥島近海では、2023 年 10 月 2 日から 9 日にかけて、地震活動が活発になりました。6 日 10 時 31 分には M6.0 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生し、気象庁はこの地震に伴い、伊豆諸島及び小笠原諸島に津波予報（若干の海面変動）を発表しました。この地震により、八丈島八重根で 0.2m などの津波を観測しました。九州・山口県では、鹿児島県の中之島で 8cm、南大隅町大泊で 6cm の津波を観測しました（表 3）。

また、これらの地震の震源付近では、9 日 04 時頃から 06 時台にかけて、規模が小さいうえに地震波の P 相<sup>(注3)</sup>及び S 相<sup>(注4)</sup>が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発しました。このため、気象庁では地震及び津波の監視を強化していたところ、八丈島八重根で津波を観測したことから、9 日 06 時 40 分に伊豆諸島及び小笠原諸島に津波注意報を発表し、その後、津波注意報の範囲を拡大する続報を順次発表しました（9 日 12 時 00 分に解除）。この地震活動により、

八丈島八重根で 0.7m など、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測しました。九州・山口県では、鹿児島県の中之島で 31cm、南大隅町大泊で 26cm の津波を観測したほか、大分県、宮崎県及び鹿児島県の太平洋沿岸で津波を観測しました（表 4）。

（注 3）初期微動 （注 4）主要動

- ・ 12 月 2 日 23 時 37 分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ 40km で Mw7.5 の地震（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生しました。気象庁はこの地震に伴い、2 日 23 時 56 分に千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、伊豆諸島、小笠原諸島及び宮古島・八重山諸島に、3 日 03 時 19 分に奄美群島・トカラ列島に津波注意報を発表しました（3 日 09 時 00 分に解除）。この地震により、伊豆諸島の八丈島八重根で 0.4m など、宮城県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測しました。九州・山口県では、鹿児島県の奄美市小湊で 19cm、南大隅町大泊で 16cm、種子島熊野で 16cm、種子島西之表で 11cm の津波を観測しました（表 5）。

表 3 10 月 6 日の鳥島近海の地震による津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
鹿児島県	南大隅町大泊	海上保安庁	06日 -:-	06日 13:44	6
	中之島	海上保安庁	06日 -:-	06日 12:27	8

表 4 10 月 9 日の鳥島近海の地震活動による津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
大分県	佐伯市松浦	気象庁	09日 -:-	09日 10:20	6
宮崎県	日南市油津	気象庁	09日 -:-	09日 08:08	14
鹿児島県	志布志港*	気象庁	09日 -:-	09日 08:54	0.2m
	南大隅町大泊	海上保安庁	09日 -:-	09日 08:18	26
	種子島西之表	海上保安庁	09日 -:-	09日 09:27	10
	奄美市小湊	気象庁	09日 -:-	09日 08:06	9
	中之島	海上保安庁	09日 -:-	09日 09:46	31

表 5 12 月 2 日のフィリピン諸島、ミンダナオの地震による津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
鹿児島県	南大隅町大泊	海上保安庁	03日 03:-	03日 07:22	16
	種子島熊野	気象庁	03日 -:-	03日 04:47	16
	種子島西之表	海上保安庁	03日 03:-	03日 07:20	11
	奄美市小湊	気象庁	03日 02:36	03日 03:12	19

九州・山口県で観測した津波を記載。

- は値が決定できないことを示す。

\* は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は 0.1m）。

※観測値は後日の精査により変更される場合がある。

※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。

## 4. 国内の地震活動

2023年における国内の地震活動の状況は表6、図5のとおりです。

表6 2023年における国内の地震活動の状況

	2023年	2022年
震度1以上を観測した地震	2,227 (注1) 回	1,964 回
震度5弱以上を観測した地震	8 回	15 回
震度6弱以上を観測した地震	1 回	2 回
津波を観測した地震	5 回	1 回 (注5)
被害を生じた地震 (図5)	4 回 (注6)	7 回 (注7)
死者・行方不明者を伴った地震	1 回	1 回

(注5) フンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化を除く。

(注6) 2023年5月5日14時42分及び同日21時58分に発生した能登半島沖の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため合わせて1回としています。

(注7) 2022年6月19日及び同月20日に発生した石川県能登地方の地震並びに2022年8月11日に発生した2回の上川地方北部の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため合わせてそれぞれ1回としています。

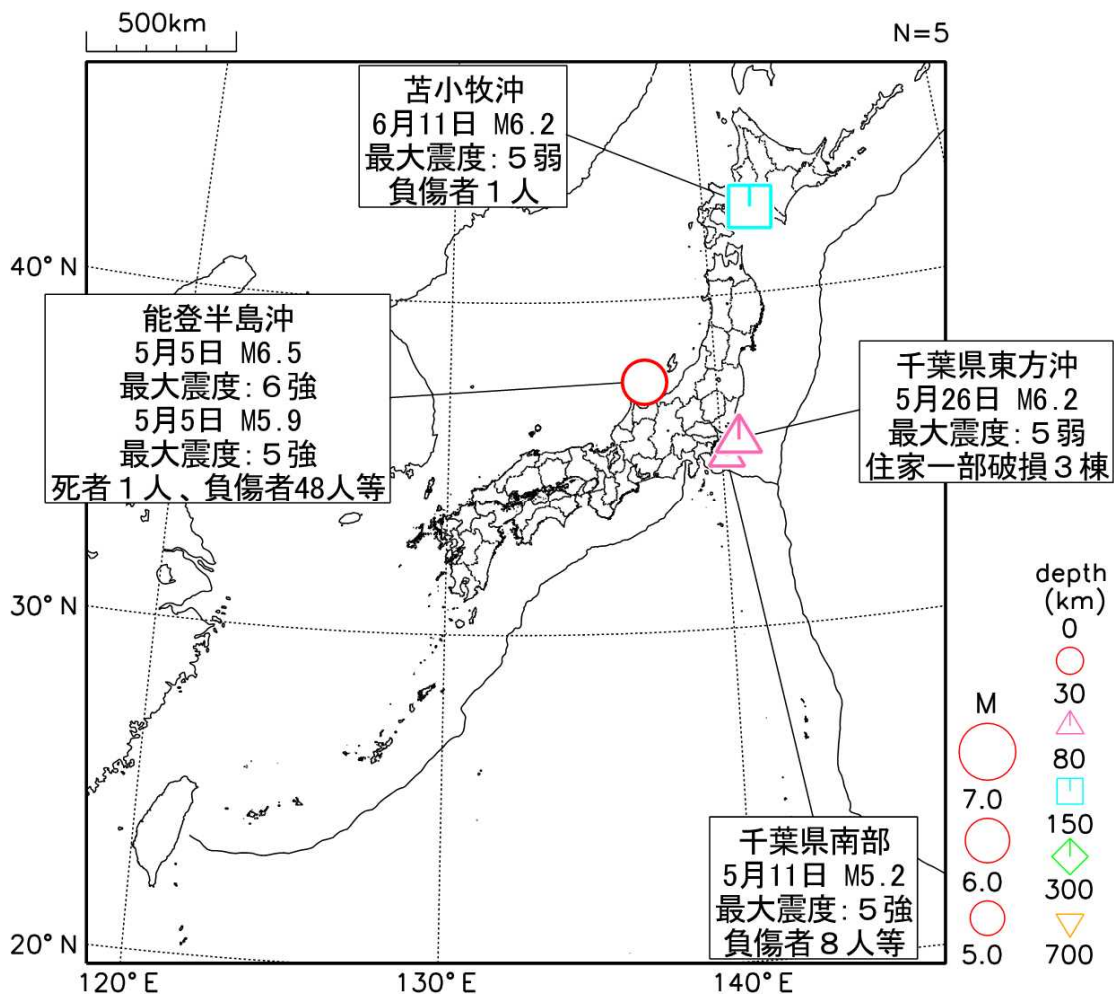


図5 2023年に国内で被害を生じた地震の震央分布図

※吹き出し内の被害は総務省消防庁による被害を記載しています。

※情報発表時の値(速報値)とは異なる場合があります。

### 5. 海外の地震活動

2023年に海外で被害が大きかった地震（死者100人以上）は5回（2022年は2回）でした（図6）。また、Mw（モーメントマグニチュード）8.0以上の地震はありませんでした（2022年もなし）。

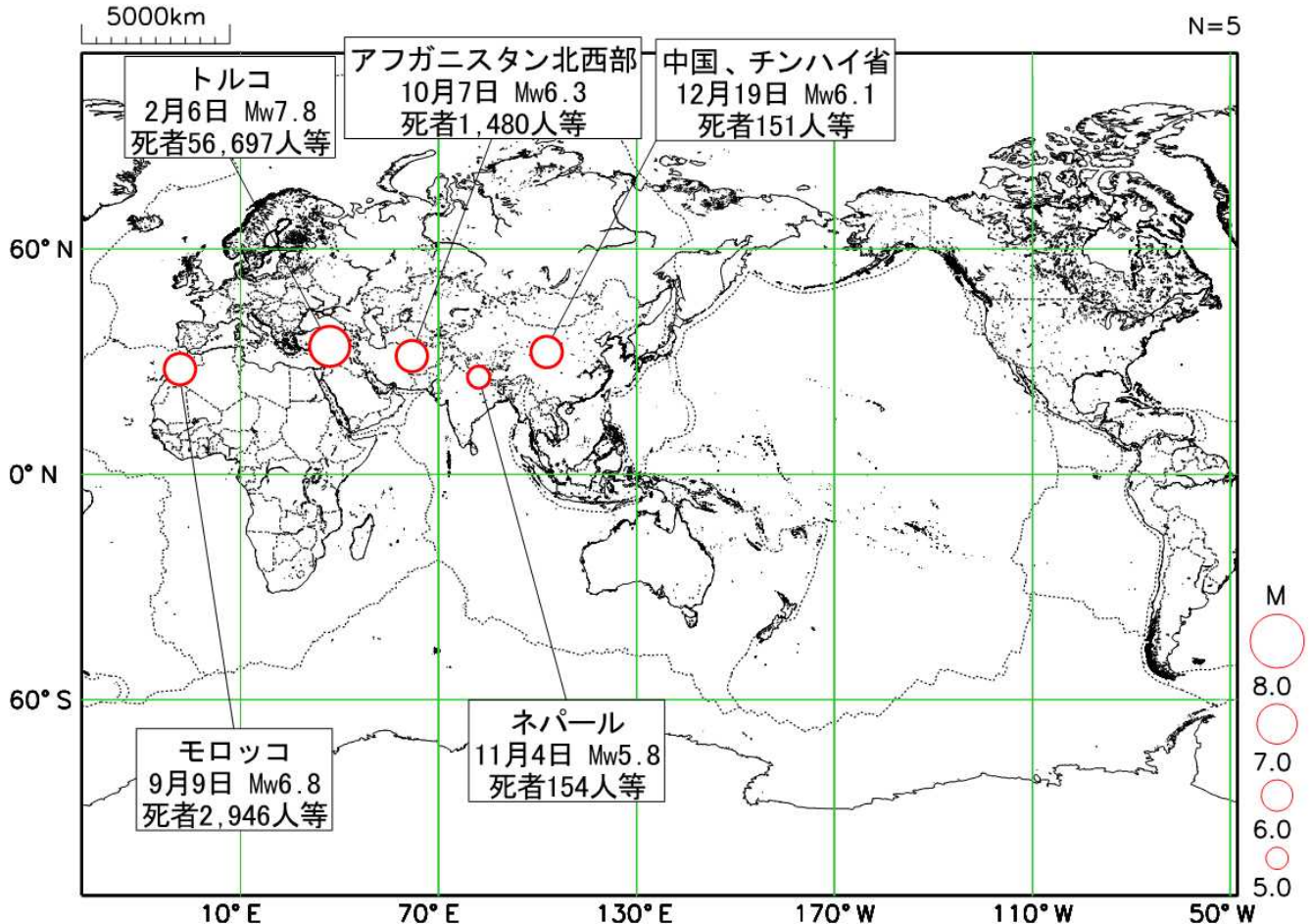


図6 2023年に海外で被害が大きかった地震（死者100人以上）の震央分布図

※地震発生日は日本時間、震源要素は米国地質調査所（USGS）によるものです。ただし、Mw（モーメントマグニチュード）は気象庁によるものです。また、被害は、国連人道問題調整事務所（OCHA：UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs）によるものです。なお、情報発表時の値（速報値）と異なる場合があります。